

ラフマニノフの「アンダンテ・カンタービレ」、「パガニーニ・ラプソディー」の18変奏のこと、最初聴いた時から、映画のBGMかどこかで刷り込まれた様な記憶。ゆったりとしたゴーギャスな世界の幕開け、美しい旋律を華麗にブリリアント、少しでも雑に扱うと素敵な空間が壊れてしまいそう。丁寧にそして大切に、甘美で魅惑的な瞬間をダイナミックに創出、あたかもコンチュルトのソリスト。きれいさをロマンチック感情に託す、過度なる切なさ表現の寸止め、センチメンタル感傷を排除、気品ある歌心の高揚を持続。

ライブでは、小菅優さんのラプソディー全曲、そしてヴェンゲーロフさんによるクライスラー・ヴァージョン、いずれもハッとさせられる素晴らしい演奏、素敵な思い出。最近、ユーリー・エゴロフさんとディノラ・ヴァルシさんのCDがマイブーム、心待ちつつ、18変奏になると特別、瑞々しい新鮮さにうっとり、ボリュームを上げ聴き入ること暫し、変奏毎に分かれていないのが難。

「ファジル・サイさん編曲のトルコ行進曲」、ピアニストのブログでは、最近演奏頻度高し、プログラムに採り上げられる確率大。前以てユーチューブでの予習、で本日演奏、ビンゴ大当たり。よく知っている曲の継ぎはぎ、シツチャカメツチャ順序無視のインパクト、無作法の中意外な爽快さ。どのパートかわかるから面白みを理解、拒否感なく苦虫の代わりニンマリ。サイさんのこのソナタ全曲、12年前県内で聴く恵沢に浴す、3楽章はどうだった覚えなし。とんでもない速さか、エキセントリックな色合いだったのか、今日のジャズ風でなかった様な。(2016.7.5)

マイフェアレディ：踊り明かそう

サウンドオブミュージック：エーデルワイス、私のお気に入り

ラフマニノフ：アンダンテ・カンタービレ

モーツァルト／F.サイ：トルコ行進曲

弘田竜太郎：浜千鳥

井上武士：うみ

文部省唱歌：村祭

團伊玖磨：紫陽花

J.シュトラウスⅡ：「こうもり」より「公爵様あなたのようなお方は」

成田為三：浜辺の歌

【メゾソプラノ】横内桂子

